

# 海軍公報 第三千二十八號

海軍大臣官房

昭和十二年四月十六日(金)

## ○ 辭令

貳百五拾圓 九州帝國大學教授 永積 純次郎  
 百 圓 同 安藤 一雄  
 海軍燃料廠ニ於ケル囑託ノ報酬トシテ(各頭書ノ通)  
 フ贈與ス

貳百五拾圓 臺灣總督府技師 烏居 敬造  
 同 同 高橋 春吉  
 同 同 商工技師 植村 癸巳男  
 百五拾圓 商工技手 武田 季次郎  
 臺灣豫備油田調査事務囑託ノ報酬トシテ金(各頭書  
 ノ通)ヲ贈與ス(以上<sup>三十一</sup>海軍省)

海軍技師 伊東 友彦  
 技術部第一課勤務ヲ命ス(海軍航空本部)

## ○ 雜款

○米國特務艦ゴールド、スター來航豫定

地名	着	發
神戶	五月二十六日	五月三十一日
横濱	六月二日	六月八日

0426

# 海軍公報

第三千二十九號

## ○ 辭 令

從七位 蜂谷 茂雄  
 海軍艦政本部ニ於ケル造船造兵監督業務ヲ囑託シ報  
 酬貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(昭和十二年四月十七日海軍省)

昭和十二年四月十七日(土)  
 海軍大臣官房

海軍公報 第三千二十九號 昭和十二年四月十七日

二九五



# 海軍公報 附録

昭和十二年四月十九日(月)  
海軍大臣官房

## ○雜款

### ○圖書

去ル二月中納庫セル普通圖書左ノ如シ(海軍文庫)

### 和漢書

A〇〇〇 兵 書

スパイ戰術秘録 (世界各國軍機保護法規集)

陸軍憲兵中尉 寶來正芳著 昭和十二  
東京 良榮堂

二二五九  
二二六〇

D一一二 時代史

近世日本國民史 徳富猪一郎(蘇峰)著 昭和十一  
東京 民友社

二二四四

第五十三卷 元治甲子禁門の役

D二三〇 世界大戰戰史

世界大戰 第一卷

英、ウイーン、チヤール原著 昭和十二  
廣瀬 將等試名共譯

二二七六

D三二〇 世界大戰—海戰史

針路西 (二潜水艦長の覺悟)

獨、海軍中佐 ハスハーゲン原著 昭和十一  
海軍少將 洪 泰夫譯

二二六三

D六二〇 傳記—武人

上杉謙信 陸軍中將 井上一次著 昭和十二  
東京 農氏社

二二五三

D六四〇 傳記—其ノ他

橋本綱常先生 日本赤十字社病院編 昭和十二

P二七〇

吉田松陰 政村敏雄著 昭和十一  
東京 岩波書店

二二四三

F一四〇 行 政

日本行政法 上、下卷 渡邊宗太郎 昭和十一  
東京 弘文堂書房

二二七四

F二〇〇 法 律

訂耕地整理法要論 大石芳平著 昭和九  
東京 大石芳平

二二六四

F二七〇 法令集

改訂市街地建築物法の解釋と手續

中山元晴著 昭和十一  
東京 工業書院

二〇六九

II二二三 年鑑、年報

昭和十二年版 支那經濟年報 (北支那特輯)

東京商工會議所調査課編 昭和十一  
東京 改造社

P二七五六

海軍公報 附録

I 一四〇 郷土史及風土記

新 北海道史 北海道編 昭和十一

第一卷 概 説  
第五卷 史料一  
第六卷 史料二

一一五三

I 三三〇 亞細亞地誌—露領亞細亞

蘇領北地事情 露文翻譯ノ聯極東及外蒙調査資料第三十七編  
滿鐵産業部編 昭和十一  
大連 南滿洲鐵道株式會社

P 二七六五

I 六〇〇 日本地圖

番地入新大東京區分地圖 附電車自動車運轉系統圖  
九段書房編輯部編 昭和八  
東京 九段書房

A 八二三

J 一〇〇 數 學

ボケツ 金屬材料ノ重量表 樺田慶治郎編 昭和十二  
東京 尙精堂

一一五八

J 二三〇 天 文 學

圖説天文講座 山本一清編 昭和十二  
東京 厚生閣

一一五三

第三卷 月と其の觀測法  
地球及び月の運動  
地球の構造及び生成史  
曆の 話

村上忠敬著  
齋内 清著  
中村左衛門太郎著  
渡邊敏夫著

J 三〇〇 工 學

實用冷凍講座 高橋照文編 昭和十一  
東京 財團 日本冷凍協會  
法人

一一五五

上 卷

冷凍設備  
冷凍補助機械  
製氷設備  
冷蔵設備  
凍結設備

中村 清著  
依藤宗一郎著  
淺野定次著  
栗屋良馬著  
栗屋良馬著

冷凍理論  
熱傳達と防熱材料  
冷媒效にロブライン  
冷凍機械  
電動機及び其の取扱法  
内燃機關

高樹建造著  
長野御介著  
長野御介著  
増田參一郎著  
山口照二著

J 三三三 土 木

海工 上卷 (河海工學第六編) 君島八郎著 昭和十一  
東京 丸善株式會社 一一四九

治水及利水 (土木行政要義第二編) 武井群樹著 昭和五  
東京 良書普及會 一一五三

K 一三一 心 理 學

青年の心理 獨, エドワード・シュランガー 原著  
土井竹治譯 昭和十二  
東京 刀江書院 一一五二

K 四二一 勞 働 問 題

勞働問題 獨, エドワード・シュランガー 原著  
土井竹治譯 昭和十二  
東京 刀江書院 一一五二

L 一〇〇 文 學

用字用語必携 假名遣、送假名、同訓 便覽  
異義、漢字正俗、文法  
吉澤義則編 昭和十二  
東京 三省堂 一一五八

自 P 二六三  
至 P 二七八

用字必携 海軍兵學校編 昭和十一	P 二八三	秘密曼荼羅十住心論	空澄海
文章の作り方 (入門百科叢書) 久米正雄著 昭和十二 東京 新潮社	P 二八三 一五五 二五五	法華去惑	源澄
露文解譯から和文露譯へ 除村吉太郎著 昭和十一 東京 橋書店	一五九	發起宿善鈔	源澄
南洋廳職員錄 昭和十年八月十五日現在	P 二七三	願文	源澄
南洋廳長官官房秘書課編 昭和十		山家學生式	源澄
十一年版 ポケット會社職員錄	P 二七九	眞言所立三身問答	源澄
ダイヤモンド社編 昭和十一		空觀	源澄
東京 ダイヤモンド社		觀心往生論	源澄
滿鐵社員錄 昭和十年十二月一日現在	P 二七七	觀心往生論	源澄
滿鐵總務部人事課編 昭和十一		第四卷 備教篇 (二)	源澄
M 二二〇 圖書館		陽復記	源澄
日本十進分類法 和漢洋書共用分類表及索引	一五五	三輪物語	源澄
森 清編 昭和六		垂加社語	源澄
大阪 開富書店		神人辨(古事記燈抄)	源澄
M 二〇〇 叢書		神道玄義(類聚神祇本源抄)	源澄
大日本文庫 大日本文庫刊行會編 昭和十二	一〇六	聖教要錄	源澄
東京 大日本文庫刊行會		通議	源澄
文學篇 南總 里見八大傳		唯一神道名法要集	源澄
三枝博音編 昭和十二		神道傳授	源澄
東京 第一書房		アルス機械工學大講座 東京 アルス	源澄
第一卷 佛教篇	一〇六	第四卷 機械工作法	源澄
憲法十七條		第十卷 蒸汽機	源澄
		M 三〇〇 全集	源澄
		鐵道交通全書 東京 春秋社 昭和十二	源澄
		第十一卷 自動車及航空	源澄
		新法學全集 末弘毅太郎編 昭和十二	源澄
		東京 日本評論社	源澄
		第四卷 公物・營造物法	源澄

海軍公報 附錄

第九卷 擔保物權法 勝本正基著

M五四〇 各種記念寫眞帖

廣田内閣記念寫眞帖 廣田内閣刊行會編 昭和十一  
東京 廣田内閣刊行會

A八四

昭和十一年夏南洋  
派遣學徒研究團 南洋踏査記念寫眞帖  
學徒至誠會 昭和十一  
東京 學徒至誠會

A八五

M六〇〇 辭書類

大百科辭典 平凡社編 昭和十二、十三  
東京 平凡社

一一五六

- 第一卷一 アーアブリ
- 第一卷二 アンリーイカン
- 第二卷一 イキーイフス
- 第二卷二 インヌーウチン

M六七〇 辭書—地名・人名

新訂 大日本人名辭典

大日本人名辭書刊行會編 昭和十二  
東京 大日本人名辭書刊行會

一一五三

第一卷 マーカミヤ

洋書ノ部

I. ENGLISH BOOKS.

(B000. Ships, Airplanes, Ordnance, Engine-General)  
Warner, Edward P.-Airplane Design  
Performance. N. Y., 1936. 9710

四

(B200. Aircraft-General.)

Adams, D.R.-Practical Aircraft Stress  
Analysis. London, 1936. 9706

(H220. Year Books.)

Burge, C. G.-The Air Annual of British  
Empire, 1937. London, 1936. P376 to P380  
A. & C. Black-Who's Who, 1936.  
London, 1936. P375

Rasertstock, C. W.-Manila City Directory.  
Manila, 1936. P381

(J310. Physics-General.)

Morse, Philip W.-Vibration & Sound.  
N. Y., 1936. 9709

(J224. Metals.)

Zeeleder, Alfred Von-The Technology of  
Aluminium & its Light Alloys.  
Amsterdam, 1936. 9705

(J310. Mechanical Engineering-General.)

Colvin, Fred H. & Stanley, Frank A.-  
Drilling & Surfacing practice. London,  
1936. 9711

(J311. Aircraft.)

Streeter, J.-How to Build Flying Boat  
Hulls & Seaplane Floats. London, 1936. 9707  
(J320. Electrical Engineering-General.)

0432

Groff, Terrell-American Electricians Handbook. London, 1936.	9712	Spindler, Arno-Der Handelskrieg mit U-Booten. Dritter Band.	2267
(J340. Aircraft, Automobile.)		(Der Krieg Zur See 1914-1918.)	
Diehl, Walter S.-Engineering Aerodynamics.	9701	Berlin, 1934.	2267
		Manthey, Eberhard V.-Der Kreuzerrieg in den Ausländischen Gemässern. Dritter Band.	
2. DEUTSCHE BÜCHER.			
(X000. Die Kriegswissenschaft.)		(Der Krieg Zur See 1914-1918.)	2266
Meyer, Julius-Die Grundlagen des Luftschutzes. Leipzig 1935.	2330	Berlin, 1937.	2267
Hamppe, Erich-Der Mensch und die Luftgefah. Berlin, 1936.	2331	(X300. Die Diplomatie, Die Völkerrecht, Die Politik, Das Gesetz.)	
E. S. Mittler & Sohn-Rangliste der Deutschen Kriegsmarine. Berlin, 1936.	2338	Beyer, Balentin-Das Neue Deutschland im Wenden. Berlin, 1937.	2351
(X100. Die Militärische Miscellen. Die Marine, Die Aeronautik.)		Hauslofer, Karl-Welt im Garring	
Eisenlohr, Roland-Flugtechnisches Handbuch. Band 1. Berlin, 1936.	2328	Zeitberichte Deutscher Geopolitiker.	
Eisenlohr Roland-Flugtechnisches Handbuch. Band 2. Berlin, 1936.	2329	Leipzig, 1937.	2352
Eisenlohr Roland-Flugtechnisches Handbuch. Band 3 Berlin, 1936.	2336	(X600. Die Wissenschaft.)	
Breth, Alexander-Taschenbuch der Kriegsschiffen. 1937. München, 1937.	2350	Rehlich, K. A.-Ingenieurgeologie Berlin, 1929.	2308
(X300. Die Geschichte, Die Biographie.)		Ascher, Richard-Die Schmiermittel. Berlin, 1931.	2355
		Unold, G.-Stahlbau-Kalender, 1937. Berlin, 1936.	2352
		Ostertag, P.-Kolben & Turdo Kompressoren. Berlin, 1923.	2335



0433

Ostertag, P.-Die Entropietafel für Luft. Berlin, 1930.	2340	Gaujour, Robert-Les Compas D'Aviation. Paris, 1936.	1759
Zeman, J.-Zweitakt Dieselmotoren. Wien, 1935.	2334	Kopporinde, W.-Le Vol à Voile. Paris, 1935.	1761
Hinz, Adolf-Thermodynamische Grundlagen der Kolben-und Turbo-Kompressoren. Berlin, 1927.	2337	Duval et Hebrard Navigation Aerienne. Paris, 1935.	1755
Hayashi Keiichi-Theorie des Tragers auf Elastischer Unterlage. Berlin, 1921.	2309	(Y300. Diplomatie, Droit International, Politique, Droit.)	
Bosch, M. ten-Vorlesungen über Maschinenelemente. Heft 1. 2. 3. 4. 5. Berlin 1929.	2343-2347	Societe des Nations-Commerce des Armes et des Munitions. Geneve, 1936.	P17
Schiebel, A.-Zahnrad (Einzelkonstruktion aus dem Maschinenbau.) Teil 1. 2. Berlin, 1930.	2342	(Y300. Science.)	
Gregor, Alfred-Der Praktische Stahlhochbau. Band 2. 3. Berlin, 1931.	2353	Guillemin, J.-Preces de Construction, Calcul et Essais des Avions et Hydravions. Paris, 1929.	1760
Stettin, K. Landien -Maschinenelemente. Band 1. 2. Berlin, 1933.	2332		
	2333		
3. LIVRES FRANÇAIS.			
(Y100. Miscellanees Militaires, Marine, Aéronautique.) Lame-Le Vol Vertical. Paris, 1934.	1757		

# 海軍公報 第三千三十一號

海軍大臣官房

昭和十二年四月二十日(火)

## ○辭令

○昭和十二年四月二十日

任海軍書記

給月俸六拾圓

八頭司 英一郎

任海軍技手

給五級俸

加瀬谷 昭男

任海軍技手

給月俸六拾圓

眞鍋 常春

任海軍技手

給九級俸

富永 友市

嬉野海軍病院附ヲ命ス

海軍書記

八頭司 英一郎

海軍技手

加瀬谷 昭男

(各通)

同

眞鍋 常春

佐世保海軍建築部勤務ヲ命ス

同

富永 友市

勳六等 萩本 猛夫  
軍令部ニ於ケル事變關係事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千八百六拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上ハ海軍省)

# 海軍公報 第三千三十二號

昭和十二年四月二十一日(水)  
海軍大臣官房

## ○令達

官房第二一一七號

一、本月二十七日靖國神社臨時大祭日ハ休暇ヲ賜リタルニ付職工ニ對シテハ一般休業トシ海軍工務規則第四十六條ノ三ノ規定ニ準ジ當日賃錢全額ヲ給ス

鑛夫、常備人夫及工作應(海軍工務規則ヲ準用スル各應ヲ含ム)ニ於テ期間ヲ定メテ繼續備入中ノ人夫ニ付テハ前項ニ定ムル所ニ依リ職工ニ準ジ取扱フコトヲ得

一、本月三十日靖國神社例大祭日ニハ職工ニ對シテハ海軍工務規則第四十六條ノ三ノ規定ニ準ジ當日賃錢全額ヲ給ス

鑛夫、常備人夫ニ付テハ前項ニ定ムル所ニ依リ職工

ニ準ジ取扱フコトヲ得

昭和十二年四月二十日

海軍大臣

## ○通牒

官房第二二三二號

昭和十二年四月二十一日

海軍次官

在京各廳長殿

靖國神社臨時大祭及例大祭ニ關スル件通牒

今般靖國神社臨時大祭及例大祭舉行相成候ニ付テハ在京諸官ノ參列ハ左記ニ依ル義ト御承知相成度

追テ四月二十七日行幸啓御次第ニ關シテハ別ニ通牒可致候

記

月 日	參 列 者	服 裝	參 著 時 間
四月二十五日 (招魂式當日)	一、合祀者所管各部ノ代表者 一、在京ノ各官衙、學校ヨリ勅任官總代、奏任官總代、判任官總代(各部ノ長之ヲ定ム)	高等官 正裝、大禮服 判任官 准士官(正裝) 下士官(軍裝) 文官(通常禮服) (勳章記章全部)	午後八時迄ニ式場ニ 參著
四月二十六日 (大祭第一日ノ儀 當日)	一、海軍大臣 一、合祀者所管各部ノ代表者 一、在京ノ武官(准士官以下、ヲ除ク)、勅、奏任文官 一、横須賀鎮守府派遣ノ參拜隊	正裝、大禮服	午前八時三十分迄ニ 拜殿ニ參著 (午前九時勅使參向) 參拜隊ハ午前八時四十五分 迄ニ參著
四月二十七日 (大祭第三日ノ儀 當日)	一、海軍大臣 一、在京ノ各官衙(海軍省ニ在リテハ各局)、學校ヨリ勅任官總代、奏任官總代(各部ノ長之ヲ定ム) 一、親任官及勳一等ノ諸官	正裝、大禮服	午前九時三十分迄ニ拜殿ニ 參著但シ親任官及勳一等ノ 諸官ハ午前十時迄ニ參著 午前十時 御 出 門 行 幸 午前十時三十五分 御 出 門 行 啓
四月三十日 (例大祭當日)	一、海軍大臣 一、在京ノ武官(准士官以下、ヲ除ク)、勅、奏任文官	正裝、大禮服	午前八時三十分迄ニ 拜殿ニ參著

○ 辭 令

海軍兵學校ニ於ケル教授ヲ囑託ス

角 田 義 和

但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス  
(三月 海軍省)

北海道廳屬 宮城 松藏  
札幌地方海軍人事部新設準備事務ヲ囑託ス

藤本 勳  
吳海軍工廠電氣部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

吳海軍工廠職工教習所教務囑託兼海軍技手養成所教務囑託

喜利 克人  
兼海軍技手養成所教務囑託ヲ解ク

吳海軍工廠職工教習所教務囑託  
宮原 治之  
兼テ海軍技手養成所教務ヲ囑託ス(以上三月同)

○ 雜 款

○郵便物閉塞交換開始  
特務艦隱戶今般北米方面行動中同艦ト横濱郵便局間ニ軍艦郵便ノ取扱ヲ行ハル

(海軍省 副官)

○ 進 水

驅逐艦大潮四月十九日舞鶴海軍工廠ニ於テ進水セリ

○ 出 發

米國 出張 海軍造船少佐 岩崎 正英	四月廿六日午後零時五分東京發 同日午後三時横濱發	龍田丸
--------------------------	-----------------------------	-----

佛國 出張 海軍造兵大尉 越野 長次郎	五月十三日 神戸發	伏見丸
---------------------------	--------------	-----

○學生入隊期日  
海軍練習航空隊特修科學生(昭和十一年八月二十六日官房第四〇〇三號ニ依ルモノ)ハ五月七日迄ニ入隊セシメラレ度  
(横須賀海軍航空隊)

0438

# 海軍公報

第三千三十三號

昭和十二年四月二十二日(木)  
海軍大臣官房

○雜款

○出發

米國  
駐在

海軍少佐 長澤 浩

四月二十一日午前七時  
東京驛發  
同日午後時  
橫濱發

龍田丸

海軍公報 第三千三十三號 昭和十二年四月二十二日

三〇五

# 海軍公報 第三千三十四號

昭和十二年四月二十三日(金)  
海軍大臣官房

## ○令達

官房第二二〇一號  
來二十九日天長節ニ付在京諸官ハ參賀ニ關シ當日左ノ  
通心得ベシ

昭和十二年四月二十三日

海軍大臣

- 一、午前九時ヨリ同十一時迄ニ參賀スベキ者  
當日宴會ニ召サレザル勅任官
  - 一、午後二時ヨリ同四時迄ニ參賀スベキ者  
奏任官就判任官以下ニシテ位勳ヲ有スル者
  - 二、午前十一時三十分本省ニ參賀スベキ者  
判任官同待遇者ニシテ位勳ヲ有セザル者
- 但シ第二項以下ニシテ有爵者有位華族ノ向ハ除ク  
服裝(舊中ニ參賀ノ向) 正裝 大禮服

## ○通牒

軍需衣第六一號  
昭和十一年軍需衣第三五號左記兵種ノ欄中

短期現役兵	豫備現役兵
豫備練習生	補練習生

ニ改ム

昭和十二年四月二十二日  
海軍省軍需局長

(參照) 昭和十一年軍需衣第三五號ハ半靴交付種別一定ノ件ナリ(會計法規中卷一五九頁)

航本第一二八一號  
壽發動機二型修理標準中左ノ通改正ス  
昭和十二年四月二十二日  
海軍航空本部長

一、壽發動機二型ヲ壽發動機二型及二型改一ニ改ム  
二、頁 H55 ヲ H55-1 ニ改メ、頁 H55-1 ヲ加フ  
三、頁 H56 ヲ H56-1 ニ改メ、頁 H56-1 ヲ加フ  
別紙ハ所要ノ向ニ配付ス

○ 辭 令

東京帝國大學助教 石井 照久  
海軍經理學校ニ於ケル商法學教授ヲ囑託シ報酬年額  
七百貳拾圓ヲ贈與ス(海軍省)

陸軍軍醫少尉 新山 武美  
横須賀海軍建築部所掌業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千四拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇  
トス(四月同)

商工技手 武田 季次郎  
海軍省事務囑託ヲ解ク(四月同)

長内 忠雄  
海軍機關學校ニ於ケル物理學教授ヲ囑託ス

但シ報酬年額千參百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待  
遇トス(四月同)

前田 協  
馬公要港部病院ニ於ケル齒科治療ヲ囑託ス

但シ報酬年額六百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス  
(三月同)

○ 雜 款

○見學中止  
特命檢閱(五月十日ヨリ同十五日迄)竝ニ其ノ準備ノ  
都合有之候ニ付特ニ已ムヲ得ザルノ向ノ外來五月一日  
ヨリ同十五日迄當所ノ見學希望差控ラレ度  
(海軍技術研究所)



# 海軍公報 第三千三十五號

昭和十二年四月二十四日(土)  
海軍大臣官房

## ○通牒

航本第一二七三號

海軍航空機基本部品制式中左ノ通改正ス

昭和十二年四月二十一日

海軍航空本部長

- 一、「海空No.一六中空六角ボルト」中「ネチノ外徑」ノ欄中「11」ヲ「12」ニ、「12」ヲ「14」ニ、「13」ヲ「16」ニ改ム
- 二、「海空No.五二〇—二發動機發火系統無線不感裝置組立(其ノ二)」ヲ別紙「海空No.五二〇—二發動機發火系統無線不感裝置組立(其ノ二)」ニ改ム
- 三、「海空No.五二〇—一〇裝鎧蛇管(小)」ノ次ニ別紙「海空No.五二〇—一〇A裝鎧高壓電線」ヲ、「海空No.五二〇—一三電纜用止錠」ノ次ニ別紙「海空No.五二〇—一三A電線用止錠」ヲ、「海空No.五二〇—一四A點火栓接地金具」ヲ加フ
- 四、「海空No.五二〇—一五接地線」ヲ別紙「海空No.五二〇—一五接地線」ニ、「海空No.五二七—七點火栓覆一型用絕緣筒止金用ネチ」ヲ別紙「海空No.五二七—七點火栓覆一型用絕緣筒止金用ネチ」ニ、「海空No.五二七—八點火栓覆一型用電路觸着用ハネ」ヲ別紙「海空No.五二七—八點火栓覆一型用電路觸着用ハネ」ニ改ム
- 五、「海空No.五三一—五白金長螺受金」ノ次ニ別紙「海空No.五三一—五氣常用磁石發電機無線不感裝置」ニ改ム

海軍公報 第三千三十五號 昭和十二年四月二十四日

三〇九

ヲ加ヘ「海空No.三五七―二、一八氣筒用磁石發電機無線不感裝置覆蓋」ノ次ニ別紙「海空No.五三八

プロペラ調速機取付部」ヲ加フ

別紙ハ所要ノ向ニ之ヲ配付ス

○ 辭 令

從七位勳六等 栗原 雅夫

吳海軍工廠ニ於ケル造船業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

作本 友一

横須賀海軍工廠ニ於ケル事變關係造船業務囑託ヲ解ク(以上<sup>海軍省</sup>海軍省)

(各通)

海軍造兵中佐 安本 武之助

海軍造兵大尉 吉川 春夫

技術部第一課勤務ヲ命ス

海軍造兵少佐 稻富 久雄

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍造兵大尉 福島 喜久雄

在廣島首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上<sup>海軍省</sup>海軍航空本部)

○ 雜 款

○佛國飛行家「ドルイユ」及「デナ」ノ本邦飛來豫定

一、乘 員 「ドルイユ」及「デナ」兩氏

二、使 用 機 「ビーチクラフト」B17L型(ライト四五〇馬力) 登録標識EAPFD

三、目 的 雲南、上海經由巴里東京間急速飛行

四、指定航空路 (往航) 上海方面ヨリ濟州島南方、長崎縣富江、野母崎、口ノ津、福岡、大阪、國府津又ハ其ノ西北ヲ經テ厚木、東京(羽田)ヘ

但シ舊東京市上空ハ之ヲ禁ス

(復航) 往航ノ反對トス

五、離着陸場 東京飛行場(羽田)

六、不時着陸場 福岡第一飛行場 大阪飛行場 名古屋飛行場

七、條 件

- (イ) 帝國領土航空中ハ帝國航空法規ヲ遵守スベシ  
 (ロ) 臺灣及南西諸島ノ上空ノ航空ヲ禁ス  
 (ハ) 要塞地帯(要塞地帯法第七條ニ定メタル區域ヲ含ム)、宇品港域軍事取締法ニ定メタル區域、軍港及要港ノ上空ノ航空ヲ禁ス  
 尙本航空路中(一) 蔚山ト角島トヲ連スル線以南、(二) 五島列島北端、野母崎、口ノ津ヲ連スル線以北、(三) 山口縣宇部、防府、須々万本郷ヲ連スル線以南ノ陸地及同海岸線ヨリ十哩以内ノ海上、(四) 廣島及横濱ノ各南方ハ何レモ航空禁止區域ニ付留意スベシ

八、期 日 追テ通知ス

# 海軍公報 附錄

昭和十二年四月二十四日(土)  
海軍大臣官房

本邦駐在外國海軍士官名簿 (昭和十二年四月十日調)

國別	職	官	勳	氏名	現官任命年月日	(着任年月) (解任豫定年月)	宿所 (電話)	家族
蘇國	大使館附官	中佐		A. Koraletff	昭和十〇、四、一八	昭和七、一〇 (四谷六〇五二)	澁谷、代々木大山、二〇六七	夫人
伊國	大使館附官	大佐		Alberto Ghe	昭和十〇、四、一八	同 九、一	帝國ホテル (銀座三二五一)	
獨國	大使館附官	大佐		P. W. Wenneker	同 一〇、四、一	同 九、一〇	澁谷、代々木山谷、三〇三 (四谷七〇八二)	令嬢
中國	大使館附官	上校		劉 田 甫	大正八、五、五	同 九、九	芝、三田小山、一 (三三三六六)	
佛國	大使館附官	大佐	瑞三	J. Rosati	昭和九、三、一五	同 一〇、五	赤坂、檜、六 (赤坂一六一一)	令嬢
英	大使館附官	大佐		H. B. Rawlings	昭和五、二、三〇	同 一、二	赤坂、臺、一五五二	夫人
英	輔佐官	機關中佐		A. D. Merriman	同 一〇、三、三十一	同 一、二、七	赤坂、青山南、一、四八 (赤坂四〇一八)	夫人
英	駐在	大尉		L. C. S. Sheppard	同 五、八、一	同 一、二、六 (四六)	赤坂、仲ノ町、一七	

海軍公報 附錄



## 備考

- (一) 本表ハ武官就任ノ順序ニ依ル  
 本表ノ外兼務トシテ海軍武官ノ職務ヲ執ルモノ
- (二) 波蘭國公使館附陸軍武官兼海軍武官 陸軍少佐 A. Przybylski (昭和一〇、二着任夫人アリ)  
 羅馬尼國公使館附陸軍武官兼海軍武官陸軍大佐 G. Păulescu (昭和一〇、二着任)
- (三) 同空軍武官ニシテ海軍武官ニ準ジ取扱ヘルモノ  
 英國大使館附空軍武官空軍中佐 R. W. Chappell (昭和一〇、一着任夫人アリ)  
 麻布、北目ヶ窪、三一(赤坂 四三六)
- 佛國大使館附空軍武官空軍少佐 M. Banyue (昭和一〇、四着任夫人アリ)  
 麻布、西、二三(三田 四七五九)
- (四) 同陸軍武官ニシテ空軍武官ヲ兼務セルモノ  
 伊國大使館附陸軍武官兼空軍武官陸軍參謀中佐 G. Solime (昭和九、一一着任)  
 大森、上池上、一二三四(荏原 五六二九)

0447



海軍公報 第三千三十六號

○ 辭 令

海軍省建築局勤務海軍技手 山本 茂雄  
横須賀海軍建築部勤務ヲ命ス(第三千三十六號海軍省)

昭和十二年四月二十六日(月)  
海軍大臣官房

海軍公報 第三千三十六號 昭和十二年四月二十六日

三一三

# 海軍公報 第三千三十七號

昭和十二年四月二十八日(水)  
海軍大臣官房

## ○通牒

房第二三四九號ノ三

昭和十二年四月二十八日

海軍省副官

各廳長殿

侍從武官被差遣ノ件通牒

今般戰技實視ノ爲侍從武官平田 昇ヲ聯合艦隊へ被差遣候趣侍從武官長ヨリ通牒有之候

## ○辭令

鈴木 道春

軍令部ニ於ケル編纂事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額五十五圓ヲ給シ部内限判任官待遇トス(四月軍令部)

## ○雜款

海軍公報 第三千三十七號 昭和十二年四月二十八日

### ○考試問題發送

海軍經理學校第二十八期甲種學生及第四十六期(校內)第四十七期(校外)選科學生採用考試問題本月二十六日發送済

### (一) 考試施行期日

#### 甲種學生

六月一日(火) 自午前九時至正午 法律

六月二日(水) 同 經濟及財政

六月三日(木) 同 英文和譯

自六月三日(木)至六月十日(木) 正午 作業問題

#### (二) 選科學生(校內)

六月十一日(金) 自午前九時至正午 英文和譯

自六月十一日(金)至六月十八日(金) 正午 作業問題

#### (三) 選科學生(校外)

六月一日(火) 自午前九時至正午 法律

六月二日(水) 同 經濟及財政

六月三日(木) 同 英文和譯



○試驗問題發送

第三十五期高等科經理術練習生、第六十一期普通科經理術練習生及第三十三期掌廚術練習生採用試驗問題本月二十二日發送済

記

一、試驗施行期日

第三十五期高等科經理術 昭和十二年六月十四日(月)

第六十一期普通科經理術 同 六月十四日(月)

第三十三期掌廚術 同

二、試驗問題發送先

- (イ) 聯合試驗參加不可能ト認メラルル向ヘハ直接各部ノ長ヘ、其ノ他ハ各海軍人事部長及各要港部參謀長宛送付(未着ノ向ハ至急通知アリ度)
- (ロ) 行動豫定變更等ノ爲單獨試驗施行ヲ要スル時ハ最寄海軍人事部(要港部)ニ請求相成度

(海軍經理學校)

第六十四期普通科機關術(練習生採用試驗問題)

第六十五期普通科電機術(練習生採用試驗問題)  
右本月二十六日左記ノ通發送済、未着ノ向又ハ別ニ必要ノ向ハ御通知相成度

記

- 一、單獨試驗施行豫定ノ各部ニハ直送セリ
- 一、聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部首席部員及各要港部副官宛送付但シ旅順要港部所屬艦船ニハ直送
- 一、聯合試驗參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更ノ爲

聯合試驗參加不能ノ向ニ對スル分トシテ前記諸官宛單獨試驗問題若干部送付シ置ケリ

(海軍工機學校)